

今までもそこにあっただけでしょうが、ぼんやり見ていたので気が付かなかったことって多いものです。人と待ち合わせのために川崎市役所の第3庁舎のロビーにいと、大きな旗が下がっていることに気が付きました。6月のしっとりとした風に吹かれて旗がゆらゆら揺れています。「何が書いてあるんだろう」。その時、初めてそう思いました。その旗に書かれている言葉をじっと読んでいと、再び新たな旅に出る今の自分にとって、いい言葉だなと思いました。誰がこのような素敵な言葉を思いついたのでしょうか？

そこには、

C l o r s , F u t u r e !

いろいろって、未来。

多様性は、あたたかさ。多様性は、可能性。

川崎は、1色ではありません。

あかるく。あざやかに、重なり合う。

明日は、何色の川崎と出会おう。

次の100年へ向けて。

あたらしい川崎を生み出していこう。

と、書かれていました。

川崎市に暮らし始めて35年あまり。確かに、川崎は、私も含めて多様な人間が生活している「まち」でした。「多様性」はあたたかな人間関係の中でのみ育まれます。そのあたたかな空気の「人権教育」を学んだのも川崎でした。今よりずいぶん若い時、「多様性」を大事にしようとする、こんな言葉にも出会っています。「一人一人の違いが豊かさとして響き合う社会に」という言葉です。私の人生のテーマになっている言葉です。

「多様性は、あたたかさ。多様性は、可能性。」第3庁舎にゆれる旗は、新たな旅立ちをする私への応援旗のようでした。こんな私ですが、再出発です。100年は頑張れませんが、生涯学習という視点で、あたらしい自分をつくり出していきたくと思います。

(N. K)さんから引き継ぎました(M. Y)です。